

平成22年度食品健康影響評価技術研究領域候補（案）

I 食品中の化学物質等の健康影響評価手法に関する研究領域

- 胎児期、発達期の暴露による健康影響評価手法の開発
（キーワード：in vivo、発達障害、中枢・末梢神経機能、発がん、生殖機能、代謝・内分泌調節機能、薬物代謝酵素）
- 低用量暴露における量影響関係・量反応関係による健康影響評価手法の開発
（キーワード：低用量暴露、用量影響、用量反応）

II 食品に起因するかび毒・自然毒、有害微生物等の健康影響評価手法に関する研究領域

- 食品及びその原材料における食中毒起因微生物等の生存、増殖の評価手法の開発
（キーワード：食中毒、微生物、生存、増殖）
- 有害微生物等の特性解析と健康影響評価手法の開発
（キーワード：動植物由来微生物、微生物の特性、測定法、疫学調査）

III 新たな危害要因の予測や新しい健康影響評価手法に関する研究領域

- ナノテクノロジー利用食品・容器包装に関する健康影響評価手法の開発
（キーワード：経口投与、動物実験、体内動態）
- 新たな危害要因の予測手法の開発
（キーワード：トランス脂肪酸、グリシドール脂肪酸エステル、3-MCPD 脂肪酸エステル、分析法、体内動態、毒性）
- ベンチマークドーズ法等を活用した新しい健康影響評価手法の開発
（キーワード：無毒性量の推定）
- ハイリスクグループ（高齢者、生活習慣病患者等）に対する健康影響評価手法に関する研究
（キーワード：高齢者、生活習慣病、背景疾患、動物疾患モデル、疫学調査）

IV リスクコミュニケーションの推進に関する研究領域

- リスクコミュニケーションの対象（地域性、年齢、職種等）を考慮した介入試験による効果分析手法の開発
（キーワード：情報提供手法、専門家／市民間の認知ギャップ、表現形式、情報要求）
- リスク評価書の効果的なリスクコミュニケーション手法の開発
（キーワード：サイエンスコミュニケーション）

食品健康影響評価技術研究の概要

食品安全委員会では、科学を基本とする食品健康影響評価（リスク評価）の推進のため、平成17年度より新たにリスク評価ガイドライン、評価基準の開発に関する提案公募型の研究を実施しております。

研究の具体的内容は以下のとおりです。

(1) 研究概要

本研究はリスク評価ガイドライン・評価基準の策定等に資する研究事業として「研究領域設定型」の競争的研究資金制度により実施されます。

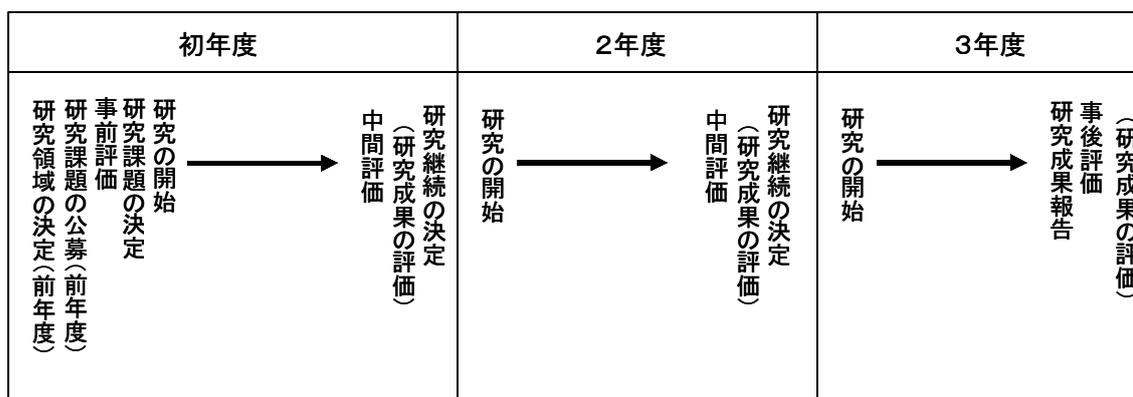
研究費は以下の手順で執行されます。

- ① 当委員会において研究領域を決定
- ② 決定された研究領域についてHP等で広く募集
- ③ 提案された研究企画を当委員会で審査し、課題を採択
- ④ 採択研究課題に対し委託費として競争的研究資金を交付

(2) 研究期間 原則3年間以内

(3) 研究主体 大学・試験研究機関等

(4) スケジュール



※課題により2年度目で終了する研究もあります。